

～アニメ業界からの贈り物・環境マガジン「アニッコ Vol.10」発行～
記念すべき第10号は『鉄腕アトム』が紹介します

6月5日(日)「西武・電車フェスタ 2011 in 武蔵丘車両検修場」にて
 「環境の日」にあわせて先着1000名さまにアニッコとアニッコノートなどを配布します。

一般社団法人日本動画協会
 西武鉄道株式会社

アニメーション制作会社が、作品の中でいつも守っている地球の環境や子どもたちの安全のために何かできることはないかと考え、その第一歩として西武鉄道と力を合わせて制作しています。

一般社団法人日本動画協会(事務局:東京都千代田区、理事長:布川郁司)と西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:白山 進)は、アニメを通じた社会貢献活動の一環として、日本動画協会会員社の協力を受け、アニメキャラクターを使用した子ども向け環境マガジン、アニメのふるさと環境マガジン「アニッコ (Anime&Eco) Vol.10」を6月の環境月間にあわせて配布いたします。特に、6月5日(日)は「環境の日」で、同日、当社最大の車両検修施設「武蔵丘車両検修場」で開催される「西武・電車フェスタ 2011 in 武蔵丘車両検修場」にて先着1,000名さまにアニッコとアニッコノートなどを配布いたします。

なお、今回は2008年12月7日に創刊した同誌の、記念すべき第10冊目になります。

同誌は、日本国内において最も多くアニメ制作会社が集積する西武線沿線の自治体等の環境対策などへの取り組みを日本動画協会が取材し、子どもたちに大人気のアニメキャラクター(※毎号キャラクターは異なります)が地球環境の大切さを考え、活躍する内容の冊子を制作、無償配布することにより、沿線の子どもの環境に対する意識をわかりやすく啓発していくものです。

今回は、高田馬場で生まれた「鉄腕アトム」が登場!一人ひとりが持っている、地球への「感謝の気持ち」を持ち寄って、地域で取り組む高田馬場・早稲田商店街の活動などをアトムやウラン、お茶の水博士が紹介していきます。この「アニッコ」はアニメキャラクターを通じて地域環境の大切さやエコ活動をわかりやすく紹介しています。「アニッコ」は、西武線各駅のほか、沿線自治体などの紹介や、「おでかけスマイル BOOK 2010 冬号」で企画・募集した「1日こども記者体験(1月29日実施)」で取材した、西武沿線のアニメ施設での取材風景やアニメ制作風景なども紹介します。

日本動画協会と西武鉄道が主催している「アニメのふるさとプロジェクト」は、「アニッコ」や「アニメゆかりの地ぶらぶら散歩」(注)の配布などを通し、沿線地域と子どもたちを始めとしたみなさまに、笑顔が届けられるよう、地域資源を活かした魅力あるまちづくりに協力してまいります。



©TEZUKA PRODUCTIONS

アニッコ (Anime&Eco) Vol.10 表紙と活動紹介ページ



別紙

「環境マガジン」制作概要

1. タイトル : 「アニッコ (Anime&Eco) Vol. 1 0」
 2. 発行日 : 2011年3月26日 (土)
配布開始日は6月1日 (水)
西武鉄道全駅・沿線自治体施設等でも無償配布。
 3. 制作内容 : サイズ/B5 16ページ
 - ・制作部数50, 000冊
 - ・使用するアニメキャラクターは日本動画協会会員社が関係する作品のものを使用し、その会員社が立地する場所 (西武沿線の市区町村) を取材対象地域を設定。環境に対する取り組みをアニメキャラクターの特性 (素材) を活かしながら地域の子どもたちが「環境問題」に興味を持ってもらえるような冊子を作成。
 - 使用キャラクター: 「鉄腕アトム」
 - 取材地域: 東京都新宿区 (高田馬場駅周辺)
 4. 制作・問合せ : 日本動画協会 (企画、取材、編集、原稿制作、著作権処理なども行う)
 5. 配布場所 : 西武鉄道各駅、沿線自治体施設や沿線教育関連施設など
 6. 主催 : アニメのふるさとプロジェクト (日本動画協会・西武鉄道)
 7. 協力 : 新宿区、株式会社手塚プロダクション
 8. 特別協力 : チャレンジ25キャンペーン (環境省)
- ※次号Vol. 11西武秩父編の発行につきましては、今号記載時期 (7月) より後の発行となる予定です。

<鉄腕アトム>

『鉄腕アトム』は、21世紀の未来を舞台に、10万馬力のロボット少年・アトムが活躍するSFヒーローマンガです。2003年4月7日、科学省長官・天馬博士は、交通事故で死んだひとり息子・飛雄 (とびお) にそっくりのロボットを、科学省の総力を結集して作りあげました。

天馬博士はそのロボットを息子のように愛しましたが、やがて成長しないことに腹を立て、そのロボットをロボットサーカスに売り飛ばしてしまいます。サーカスでアトムと名づけられたロボットは、そこで働かされていましたが、新しく科学省長官になったお茶の水博士の努力で、ロボットにも人権が認められるようになり、アトムはようやく自由の身となったのです。

アトムは、お茶の水博士によってつくられたロボットの両親といっしょに郊外の家で暮らし、お茶の水小学校へ通うことになりました。けれどもひとたび事件が起これば、アトムはその10万馬力のパワーで、敢然と悪に立ち向かっていくのです。



<ご参考>

「一般社団法人日本動画協会」

我が国のアニメーション製作業界の意志を統合し、関連する諸企業・団体との連携を保ち、アニメーション産業全体の持続的発展を目指している団体です。同協会は、アニメーション業界のマーケット情報の収集と発信、各種付加価値の創造、著作権保護の研究と実践、人材の育成、さらに諸団体との協力・調整やアニメに係わる様々な協同研究などに取り組んでいます。また、我が国のアニメーション文化を海外に紹介するなど、国際交流の実績も重ねています。

※「アニメの活用による社会貢献活動」について

1. 合意日 : 2007年10月3日 (水)
2. 提携 : 有限責任中間法人日本動画協会※・西武鉄道株式会社
※2007年10月当時。現在は一般社団法人日本動画協会
3. 活動実績

「アニッコ (Anime&Eco)」: 2008年12月に創刊された子ども向けの環境マガジン。

アニメーション制作会社が、作品の中でいつも守っている地球環境や子どもたちの安全のために何かできることはないかと考え、西武鉄道と力を合わせて制作している。



「アニッコ (創刊号)」

発行日：2008年12月17日 (水)

作品名：ケロロ軍曹

取材地域：東京都杉並区、上井草駅・井荻駅周辺

創刊号は、ケロロ軍曹が杉並区の自然や環境活動を紹介。地球侵略を企てるケロロ軍曹が、このままでは地球が温暖化などで侵略する価値がなくなると知り、みんなと協力して地球を救おうと決心します。

©吉崎観音/角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS・BV



「アニッコ Vol. 2」

発行日：2009年3月20日 (金)

作品名：名探偵コナン

取材地域：東京都中野区、新井薬師前駅・沼袋駅周辺

Vol. 2は、名探偵コナンが少年探偵団の仲間と一緒に中野区での環境活動や、街中のエコを紹介。コナンと仲間達がエコについての「とても大切な言葉」を探し出してゆきます。

©青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS 1996



「アニッコ Vol. 3」

発行日：2009年7月4日 (土)

作品名：ねぎぼうずのあさたろう

取材地域：東京都練馬区、大泉学園駅・石神井公園駅周辺

Vol. 3は、ねぎぼうずのあさたろうの「あさたろう」「こもも」「にきち」の3人が、最近見かけなくなった「練馬大根」の行方を追って、畑や川のヒミツを解きながら自然の大切さを伝えてくれます。

©飯野和好/福音館書店・テレビ朝日・東映アニメーション



「アニッコ Vol. 4」

発行日：2009年10月17日 (土)

作品名：あたしんち

取材地域：東京都西東京市 田無駅・西武柳沢駅・東伏見駅周辺

Vol. 4は、「あたしんち」のどこにでもいるフツウの家族、タチバナ家。今日もエコという名の節約にはりきる母が東京都西東京市の自然やエコ活動を伝えます。

©ママレード/メディアファクトリー・テレビ朝日・シンエイ・ADK



「アニッコ Vol. 5」

発行日：2009年12月21日 (月)

作品名：昆虫物語みなしごハッチ

取材地域：東京都国分寺市 国分寺駅・恋ヶ窪駅周辺

Vol. 5は、「みなしごハッチ」の仲良しミツパチア兄妹のハッチとアーヤが緑地や湧水がたくさんある国分寺市の自然やさまざまなエコの取り組みなどを伝えます。

©タツノコプロ



「アニッコ Vol. 6」

発行日：2010年3月25日（木）

作品名：天才バカボン

取材地域：東京都新宿区（下落合駅・中井駅周辺）

Vol. 6は、「天才バカボン」のバカボンのパパたちが、東京都新宿区（下落合駅・中井駅周辺）近くに残された豊かな緑や湧水、そして野鳥やホタルが住む街を散策しながら、さまざまな自然やエコへの取り組みなどを伝えます。

©フジオプロ・びえろ



「アニッコ Vol. 7」

発行日：2010年7月24日（土）

作品名：あにやまる探偵キルミンずう

取材地域：東京都練馬区（上石神井駅・武蔵関駅周辺）

Vol. 7は、「あにやまる探偵キルミンずう」の三姉妹が、東京都練馬区（上石神井駅・武蔵関駅周辺）の「自然」・「リサイクル」・「畑」に潜入取材し、地域環境の大切さやエコ活動をわかりやすく紹介します。

©河森正治／サテライト・JM ANIMATION・ハルフィルムメーカー／あにやまる探偵社



「アニッコ Vol. 8」

発行日：2010年9月30日（木）

作品名：東京マグニチュード8.0

取材地域：東京都豊島区（池袋駅周辺）

Vol. 8は、「安全」について考える『防災特集』です。～大地震は必ず起こります～その時のためにどう備えることができるか？みんなで考えて話し合うきっかけを作るため、「東京マグニチュード8.0」の登場キャラクターが池袋駅周辺の防災について、わかりやすく紹介しています。

©東京マグニチュード8.0 製作委員会



「アニッコ Vol. 9」

発行日：2010年12月10日（金）

作品名：チェブラーシカ

取材地域：埼玉県所沢市（航空公園・新所沢駅周辺）

Vol. 9は、ロシアで生まれた大人気パペットアニメ「チェブラーシカ」が登場！「気がつかないけど、大切なこと」を探しに、国内航空発祥の地である所沢（航空公園・新所沢）のエコ活動や地域環境の大切さを紹介します。

©2010 Cheburashka Movie Partners/Cheburashka Project

(注) 「アニメゆかりの地 ぶらぶら散歩」について

1. タイトル : 「SEIBUでいく アニメゆかりの地 ぶらぶら散歩」
2. 発行日 : 2011年3月26日(土) 西武鉄道全駅他でも配布
3. 制作内容 : サイズA2/中折 制作部数: 50,000部
4. 制作 : 日本動画協会(企画、取材、編集、原稿制作、著作権処理なども行う)
5. 配布先 : 西武鉄道各駅のほか関連施設など
6. 編集 : 一般社団法人日本動画協会



「SEIBU でいく アニメゆかりの地 ぶらぶら散歩」創刊: 2011年3月26日に創刊。西武沿線のアニメ施設などを紹介するアニメ観光マップ。沿線のアニメスポットの魅力を余すところ無く紹介していきます。日本動画協会と西武鉄道が主催している「アニメのふるさとプロジェクト」は、「アニッコ」や「アニメゆかりの地ぶらぶら散歩」の配布などを通し、沿線地域と子どもたちを始めとしたみなさまに、笑顔が届けられるよう、地域資源を活かした魅力あるまちづくりに協力しています。



「アニメゆかりの地
ぶらぶら散歩」表紙
マップ掲載内容

○お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(04)2996-2888

営業時間: 平日 9:00~19:00 土休日 9:00~17:00

※ 音声ガイダンスのご案内により操作してください。

参考資料

<西武鉄道㈱での主な環境保全の取り組み>

○「切符 de アート」の実施

地元の小学生らと使用済み切符でアニメキャラクターのモザイク壁画をつくるイベントです。「子どもたち」「ふれあい」「地域コミュニティ」「環境」をテーマとして、使用済み切符を利用することで『リサイクル(Eco)』を体験・意識していただくことが目的です。



<2008年10月に飯能市内で実施した「切符 de アート」>

○太陽光発電システム

下井草駅、東長崎駅、武蔵藤沢駅、拝島駅、野方駅に太陽光発電システムを設置しています。発電した電力は駅の照明や、エスカレーター、エレベーターなどに利用されています。

○地元産木材を利用したベンチ

2009年度は芦ヶ久保駅、狭山市駅などのホーム待合室に地元産木材で製作したベンチを設置しました。ご利用のお客さまに木のぬくもりを感じていただくとともに、環境への関心を高めていただくよう努めています。



<ベンチに地元産木材を利用した狭山市駅ホーム待合室>

○駅緑化

2008年度より、駅をご利用のお客さまに潤いと安らぎの空間を提供するとともに快適にご利用していただけるよう、緑化の実施をしています。2008年度は小手指駅・西武球場前駅・航空公園駅、2009年度は本川越駅・久米川駅、2010年度は入間市駅の緑化を実施しました。



<緑化を施した久米川駅北口>

○回生電力貯蔵装置

2007年に国内で初めて「回生電力貯蔵装置」を2ヵ所の変電所に導入しました。この装置は、回生車両がブレーキをかけた際に車両に搭載した回生ブレーキにより発電した電気エネルギーを、変電所に設置した「回生電力貯蔵装置」に貯蔵し、電車が力行（発車・加速時）する時に貯蔵した電力を放出するものです。これにより、電力使用量を削減し、省エネルギー化を図っています。



<サイクルトレイン車内の様子>

○「秩父サイクルトレイン」の実施

都内（池袋駅）から往復の専用電車を運行し、自転車をたたまず乗車して秩父でサイクリングを楽しんでいただくイベントを2007年から実施しています。イベント参加に自動車を使わず、電車と自転車を利用することでCO₂削減に貢献しています。

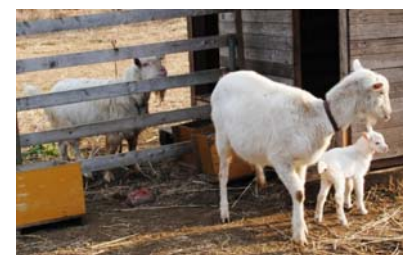
○「飯能・西武の森」

当社が埼玉県飯能市に保有する約77ha（ヘクタール）の森林を「飯能・西武の森」と名付け、地域の方々の憩いの場として、また自然体験を始めとする環境教育の場として親しまれる森を目指して保全活動に取り組むとともに、整備を進めています。なお、この事業に当たっては、埼玉県、飯能市等の支援を受けております。

○「ヤギによる草刈り」

2009年8月から池袋線武蔵横手駅の線路脇の社用地でヤギによる草刈りを行っています。この取り組みは、これまで社員が機械を使用して行っていた除草を、ヤギが草を食べることに代えるものです。除草に機械を使わないことによるCO₂の削減を目的としており、きわめて環境にやさしい取り組みとなっています。

これにより、年間約176kgのCO₂が削減される試算です（当社調べ）。また、当社作業の効率化にも寄与しています。ヤギは雄の「そら」と、雌の「みどり」とその子どもの「だいち」の3匹で、武蔵横手駅ホームや同駅停車中の車内からご覧いただけます。



<武蔵横手駅線路脇社用地にて草を食べるヤギ>